

HIC通信



ひろしま留学大使着物体験

目次

P2 県内留学生が紹介!「私の国と日本」

P3 お店訪問

P4 ひろしま留学大使

P5 事業報告

交流部

広島県留学生活躍支援センター

P8 研修部トピックス

P9 ホームステイ・ホームビジット受入家族募集

留学生ボランティア派遣受入団体募集

文化施設等優待カード

P10 コラム

Hello Hiroshima

P11 JICALレポート

こちら JICA 中国

私の **国** と日本

モンゴル編

県内の留学生から母国と日本の様々な違いについて紹介してもらいます!



留学生紹介 スフバートル エンゲーンさん

初めまして、モンゴルから来ましたスフバートル エンゲーンと申します。広島商船高等専門学校の5年生です。電子制御工学科に所属しており、将来は工場の自動化に関わる仕事をしたいです。ものづくりとバスケットボールが好きです。



一緒に来日した友人と

モンゴルの文化・住まい

モンゴルは遊牧民の文化でよく知られています。家畜として羊、山羊、馬、らくだ、牛（ヤク）の5種類の動物を飼っていて、一年中牧草地や野営地をたどって場所から場所へ移動して生活します。そうすることで、家畜に様々な美味しい草を食べさせることができるので、元気に、そして大きく育てることができます。住居は移動式のゲルと呼ばれるもので、らくだか牛車に乗せて移動します。ゲルは、大人3~4人が数時間かけて組み立て・解体できるコンパクトな構造になっています。格子状の木のフレームの上に分厚いフェルトを載せて紐で縛り付けているため、モンゴルの厳寒の猛烈な風に耐えられます。



ゲル

食べ物・乳製品

モンゴル料理は主に乳製品、肉、動物性脂肪で構成されています。ミルクとクリーム（濃度が濃いもの）はさまざまな飲料を作るために使用されます。何年にもわたってモンゴル人は伝統的な方法で様々な種類のヨーグルト、カッテージチーズ、乾燥チーズ、発酵乳製品などを含む、ユニークな乳製品を開発してきました。カルピスもモンゴルの「アイラグ」と呼ばれる馬乳酒にヒントを得て、作られたと言われています。野菜はほとんど食べず、肉と乳製品がモンゴル料理の柱です。また、ミルクは「白い食べ物」として特別な象徴的意味を持っています。霊への捧げ物、嘆願、祝福、または擁護として、ミルクを空中に投げたり、人や動物、物に振りかける儀式で使用されます。家にゲストが訪れた時に、尊敬の印として塩味のミルクティを淹れる習慣があります。



モンゴルのヤギと羊の群れ

言語

公用語はモンゴル語です。縦書きで左から右に書きます。1940年代からロシアの影響でキリル文字でモンゴル語を表すことになりましたが、1990年から初等中等教育でモンゴル文字を学べるようになりました。現在は両方を日常的に使っており、モンゴル文字はこれからも、教育などでもっと使われるだろうと思います。モンゴル語と日本語の文法はよく似ています。語順が全く同じなので日本人はモンゴル語を簡単に学習できます。

首都

モンゴルの首都は、ウランバートルといいます。相撲のファンの方は白鵬 翔の生まれ育ったところとして知っているかもしれません。年間平均気温がマイナス1.3度で、世界で一番寒い首都です。晴れ日数が多くて、にぎやかなウランバートルは、現代の生活の中にモンゴルの伝統的なライフスタイルが調和した都市です。市内中心部に近代的な高層ビルが立ち並んでいるところもありますが、そこから数キロメートル離れたところにある「ゲル地区」と呼ばれている何千もの伝統的なモンゴルの「ゲル」から、遊牧民のライフスタイルを垣間見ることができます。



ウランバートルの街並み

最後に

大崎上島町に来た当初は、初めての海に囲まれた場所での一人暮らしに、ワクワクしながらも、不安を感じていました。しかし、学校の先生方や学生たちの優しさに恵まれて、安心しました。そして、今は充実した生活を送っています。この島の人々はみんなすごく優しいです。出会ったときに知らぬ人でも挨拶する習慣があります。近所のおばさんやおじさんは自分の孫のように、気持ちよく話しかけてくれます。周りの皆のおかげで勉強以外でも人間的にも大きく成長できたように思います。これからも楽しみながら新しいことに挑戦して、忙しい日々を過ごしたいです。

H I C 通 信

お店訪問

外国料理のお店や外国食材専門店などを取り上げていきたいと思います。
第1回の「お店訪問」は、広島駅南口前にある
ハラル食材を取り扱っている
「HIROSHIMA Halal Food」にお邪魔しました。

HIC:お店はいつ頃オープンされましたか。

新田さん:2012年にオープンしました。

HIC:お店を開かれた経緯と、何故ハラル食材のお店を開かれたのでしょうか。

新田さん:夫がインドネシア人で、私もイスラム教徒に改宗しました。他の仕事をしていましたが、インドネシアに関わるビジネスをしたいと思って、最初はインドネシア料理のレストランを考えていました。しかし、留学生からハラ



一番売れ筋のインスタントラーメン

ル食材を取り扱う店がないため、全てオンラインで食材を購入していて、その際、少しでも安く購入するために、皆で一緒に購入して送料を無料にしているという話を聞きました。その時ハラル食材店があれば皆も助かると思い、ハラル食材の店をオープンすることにしました。

HIC:広島のこの場所を選ばれた理由は。

新田さん:一番は駅に近いからです。買い物する方も便利ですし、留学生会館が近いのもありました。

HIC:もしよろしければご夫婦の馴れ初めを教えてください。

新田さん:インドネシアのスラウェシ島に観光に行った時に、現地で夫と知り合い結婚することになりました。

HIC:お客様はインドネシアの方が多ですか。

新田さん:9割はインドネシアの人です。残り1割が日本人やイスラム系の外国人



の方です。インドネシアの人も昔は留学生が多かったですが、最近は技能実習生が増えました。

HIC:お客様とのコミュニケーションは何語でされていますか。



お店の正面

新田さん:お客様とはインドネシア語で話します。

HIC:取り扱われている食材は、全てハラル認証されたものですか。

新田さん:スパイスはもちろん、加工品や肉は全てハラル認証されたものです。インドネシア人以外のイスラム系の外国人の方は肉だけ購入し、スパイスは自国のものを利用されます。



インドネシアの地図のインテリア



HIC:お店を運営する上で大変なことはありますか。

新田さん:最近では、新型コロナの影響で、食材が現地で生産ができないため、ニーズのある商品が入らなくなったことです。

HIC:最後に人気食材を教えてください。

新田さん:インドネシアのインスタントラーメンです。それと冷凍の唐辛子です。日本の唐辛子は辛さが足りないそうです。

本日は、お忙しい中、取材にご協力いただきありがとうございました。

店舗情報

HIROSHIMA Halal Food

〒732-0807 広島市南区荒神町4-14井藤ビル1F
営業時間:AM11:00~PM7:00 定休日:火曜日
連絡先:Tel 090-9466-2577 又は090-9463-2577
Fax 082-843-2577

店主の新田雅子さん
持っているのは人気商品の冷凍唐辛子

「2021 ひろしま留学大使」 の活動を紹介します!



県内の各大学から応募のあった51名の留学生のうち、一定の条件をクリアした人を「ひろしま留学大使」として任命し、広島留学の魅力発信やこれから留学してくる後輩留学生が安心して生活できるような取組みを、昨年9月から約半年間してもらいました！
3月13日（日）には修了式を開催し、24名に修了証を授与しました。また、顕著な活動のあった3名に特別賞を授与しました。

SNSでの情報発信

それぞれのSNSアカウントを使って、月ごとのテーマに従い、自分の通う大学や住環境、アルバイトなどの情報を発信しました。

HIC Challenge Club

今年度初めての取組みとして、合同会社ひとむすびや日本人サポーターの協力を得て、ひろしま留学大使に月1回の研修を行いました。研修では4グループに分かれ、外国人や留学生を取り巻く課題を抽出し、その解決方法を探っていく活動をしました。

「行政・銀行手続き」、「病気になったときの病院探しや症状の用語」、「インスタグラムによる留学生に役立つ情報の提供」、「ごみの捨て方やリサイクル」をテーマに選び、グループでの協議や作業を重ねました。2月5日（土）にはその成果について、地域住民や他の留学生に向けた活動報告会を行いました。



報告会の様子はこちらからご覧いただけます!



日本文化体験

書道や華道、お正月の門松づくり、着物の着付け体験などの日本文化を体験しました。



ひろしま留学大使にインタビュー



タイ出身
PORNPHAN WAJJWALKUさん

広島のことをもっと知りたいと思い、留学大使に応募しました。HICチャレンジクラブでは、グループでの活動がメインだったので、コミュニケーションの大切さを学びました。コロナの影響で中止になった活動もあったので、来年もぜひ留学大使として活動してみたいです!



フィリピン出身
JANT CRES CAIGOYさん

コロナで、なかなか新しい出会いや交流を持てなかったことで、新しい友達を作り、もっと留学生生活を豊かにしたいと思い、留学大使に応募しました。留学生や外国人にとっての課題を考える中で、自分を振り返るいい機会となり、自分以外の他の留学生が困っていることや、自分がサポートできることについても知ることができ、勉強になりました。



中国出身
李馥岑さん

新しい友達をつくりたかったことと、自分の日本語能力を伸ばしたかったことが、留学大使に応募した理由です。グループのみんなの日本語がとても上手だったので、模範にして頑張ろうと思えました。自分にはない新しい視点や面白いアイデアを知ることができ、自分の視野が広がりました。

交流部



Report 1 医療通訳ボランティア派遣事業について

ひろしま国際センターでは、日本語に習熟していない外国人住民等の皆さんが、安心して医療・保健サービスを受けられるよう、利用申込のある医療機関等に医療通訳ボランティアを派遣しています。

| 対応言語

英語、中国語、ベトナム語、タガログ語、ポルトガル語、スペイン語

| 通訳内容（ボランティアの活動範囲）

医療機関	受付、診察、検査、会計、病室、薬局など
保健機関	3歳児健診時の問診・診察・保健指導、母子健康手帳の交付、妊婦健康診査、乳幼児健康診査、予防接種の予診票交付や家庭訪問など

| 派遣するボランティア

HIC医療通訳養成研修（約20時間）等を受講し、考査に合格した方を、HIC医療通訳ボランティアとして登録します。登録後も、HICスキルアップ研修へ参加することが必要です。

| 通訳の派遣依頼者及び派遣先

HIC医療通訳ボランティア派遣事業の趣旨等に賛同する広島県内の医療機関・保健機関。なお、外国人住民等の個人からの派遣依頼は受け付けません。

●利用申込状況

医療機関	保健機関	合計
32	14	46

(令和4年2月28日現在)

| 依頼手続き

- ①患者や保健サービスを受ける者である外国人住民等の同意が必要です。
- ②事前に派遣依頼書をHICへ提出。できる限りの対応をいたします。

| 通訳派遣に係る費用

通訳派遣に係る費用（医療通訳ボランティアに対する協力金及び交通費）は、令和5年3月31日までは当センターが全額負担します。

| 令和3年度派遣実績

(3月22日現在)

英語	中国語	ベトナム語	タガログ語	ポルトガル語	スペイン語	計
77	83	14	16	1	39	230

詳細はこちらのWEBサイトをご覧ください。▶ http://hiroshima-ic.or.jp/volunteer_medical.html

交流部



Report 2 餃子づくり交流会を開催しました

3月12日（土）に、異文化交流・餃子づくり交流会を開催しました。特定非営利活動法人虹橋の会より、岩井さん・志茂さんを講師にお迎えし、本場中国の餃子の作り方を教えてもらいました。

参加者のほとんどの方が、餃子の皮を手作りすることが初めてとのことで、講師のレクチャーを写真やビデオで撮影しながら、熱心に聞き入っていらっしゃいました。

皮を広げる工程に苦戦される方が多かったですが、ゆであがった餃子は「皮がもちもちでとても美味しい」と好評でした！

また、参加者である中国からの留学生・常海さんが、中華料理を4品作ってくれ、参加者のみなさんもとても喜んでいらっしゃいました。今回は日本人だけではなく、さまざまな国出身の留学生も参加してくれ、国際交流の場としてもみなさん楽しんでいただけた様子でした。



交流部

Report 3 加計高校芸北分校との交流会を実施しました

3月16日（水）に、北広島町にある広島県立加計高等学校芸北分校の皆さんにご協力いただき、交流会イベントを開催しました！広島県内在住の外国人28名（14か国・地域）にご参加いただきました。

例年は2月頃に「雪生活体験」イベントとして実施していますが、今年度は新型コロナウイルスの影響で3月に延期となったため、交流会に内容を変更して開催しました。雪で遊ぶことはできませんでしたが、高校生の皆さんによる神楽の鑑賞や衣装の試着、習字や折り紙など日本の遊び体験や、雪の代わりにボールを使うスポーツ雪合戦など、いつもとは違った体験のできたイベントとなりました。北広島町のキャラクター「花田舞太郎」と一緒にみんなでダンスも踊りました！

生徒の皆さんのあたたかいおもてなしのおかげで参加した方々もすぐに打ち解け、始終和気あいあいとした雰囲気の中で交流を行うことができました。参加者からもベトナムの歌やスリランカの伝統ダンスなどを披露してもらい、大変盛り上がりしました。



みんなで記念写真



スポーツ雪合戦

留学生活躍支援センター

Report 4 「オンライン就活セミナー」・「模擬面接会」を開催しました

2月28日（月）に「オンライン就活セミナー」を開催しました。広島県内の大学から留学生6名が参加しました。3月から始まる就職活動に向けた総まとめ編として、就職活動の流れや企業エントリーのやり方等を学び、実践では、一人ずつ自己PRを発表しました。また、セミナー内で「インターンシップ報告会」を行いました。企業のインターンシップに参加した留学生2名をゲストに迎え、体験談や自分の就職活動について話をしてもらいました。頑張っている仲間の話聞いた参加者は、とても勇気づけられたようでした。長時間にわたるオンラインでのセミナーでしたが、真剣に学んでいる姿が画面越しでもとてもよく伝わりました。

また、3月18日（金）に開催した「模擬面接会」には、留学生5名が参加しました。講師から面接を受ける際の注意点や心構えを学んだ後、実践練習を行いました。

実践では、与えられたテーマに沿ったグループディスカッション、グループ面接や個人面接の練習を行いました。面接官役を立てた本番さながらの面接練習に、留学生は苦戦しながらも頑張っており取り組んでいました。



グループディスカッション



個人面談

留学生活躍支援センター

Report 5 元留学生からの就活アドバイス・合同企業説明会を開催しました

3月11日（金）に、広島市留学生会館で就職活動開始セミナー及び元留学生からの就活アドバイス講座、外国人留学生合同企業説明会を開催しました。

まず、就職活動開始セミナーでは、株式会社ディスコの杉川支社長を講師に迎え、選考の流れやエントリーの仕方、面接時のポイント等、日本での就職活動の特徴を説明していただきました。

次の元留学生からの就活アドバイスでは、日本企業に就職されたお二人の元留学生（中国語；株式会社北川鉄工所、ベトナム語；株式会社第一ビルサービス）から、自身の就職活動や、現在の担当職務について母国語でお話いただきました。

そして、合同企業説明会では、出展企業18社がブースに分かれて会社概要や採用情報等の説明をし、54名の留学生が参加しました。コロナ禍のため、参加された留学生は例年よりも減少しましたが、熱心に企業の方の説明を聞く留学生の姿が印象的でした。ご出展いただいた企業の皆様、ありがとうございました。



Report 6 「留学生による広島留学動画コンテスト」入賞作品が決定しました

2月9日（水）に、「留学生による広島留学動画コンテスト」の表彰式をオンラインで開催しました。このコンテストは、留学生が「広島に留学したくなる動画」をテーマに、キャンパスライフや日常生活などを題材にし、動画で広島留学の魅力を伝えてもらうものです。

4年目となる今年は、昨年に引き続きコロナ下という状況ではありましたが、多くの留学生が素敵な作品を応募してくれました。また今年は、日本語学校生からも応募が多数あったことから、その意欲と頑張り敬意を表して「特別審査員賞」を新たに設け、日本語学校生の作品も入賞作品として選定いたしました。表彰式では入賞した8作品の表彰と上映を行い、審査員からの講評をいただき、受賞者は受賞の喜びや動画の制作意図を語りました。

応募作品は「広島県留生活躍支援センター」のYouTubeチャンネルで視聴できますので、是非ご覧ください。



表彰式の様子



表彰式参加者での集合写真

Youtubeにて [2021広島留学動画コンテスト](#) と検索

このコンテストは来年度も開催予定です。留学生のみならず、たくさんのご応募をお待ちしております！

Report 7 外国人留学生就職交流会(東広島)を開催しました

12月22日（水）に、主に2022年3月又は2023年3月卒、既卒の留学生を対象に、東広島芸術文化ホールくららで外国人留学生就職交流会を開催しました。この交流会では、第一部で留学生向けセミナー及び企業向けセミナーを実施し、第二部で出展企業（13社）がブースに分かれて、会社説明を行いました。中国、ベトナムをはじめ、ペルー、ウズベキスタン、マラウイなど11か国の留学生44名が参加しました。また、外国籍の社員の方が同席した企業では、日本語だけでなく英語や母国語で説明していただきました。ご出展いただいた企業の皆様、ありがとうございました。



留学生就職活動セミナー（マツダ様）



企業別業界研究会

Report 8 留学生採用予定企業との交流会を開催しました

2月4日（金）に、主に2022年9月又は2023年3月卒、既卒の留学生を対象に、留学生と留学生採用予定企業との交流会を開催しました。この交流会は、株式会社ディスコが開催するキャリア就活フォーラム内で行い、留学生10名が参加しました。まず、留学生に日本人学生と同じように出展企業のブースを訪問してもらい、次に、留学生採用予定の企業2社を招き、座談会形式で留学生向けに会社案内や質疑応答をしていただきました。初めて大規模な就活イベントに参加した留学生がほとんどで、日本の就職活動の雰囲気を体感できた様子でした。



留学生採用予定企業との交流会①



留学生採用予定企業との交流会②



ひろしま国際センター研修部で、今冬に実施したプログラム・取り組みをご紹介します。プログラムの実施にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大防止策を適切に講じています。

その1 JICA中国 地域共生プログラム ～となりのイスラム圏の人たち～【JICAからの受託事業】

1月22日（土）に、「地域共生プログラム ～となりのイスラム圏の人たち～」を開催しました。JICA研修員で広島大学の大学院に通うサメルさん（シリア）とアジームさん（パキスタン）、東広島在住で小学生の子どもを持つデウィさん（インドネシア）の3人がゲストスピーカーとして協力していただきました。新型コロナウイルスの影響により、急遽オンライン形式に変更して開催しました。

最初に、イスラム教の基本的な事柄を、次にイスラム教徒が食べて良いとされる鶏肉を使ったチキンスープの作り方を教えていただきました。



サメルさんからは、イスラム教の基本的なことが紹介されました

その後、ゲストスピーカー3人が、豚肉などを食べることができないイスラム教徒の普段の生活について話していただきました。「断食はなぜするの?」「学校のお昼ご飯はどうしているの?」と

いった様々な疑問に丁寧に答えてくださいました。

みなさんの暮らしを知ることで、イスラム圏の人たちを以前より身近に感じることができるようになりました。3人のスピーカーのみなさん、ありがとうございました!



31名の方がオンラインで参加しました



当日はマスクで顔が見えませんでした。無事イベントが終わり、笑顔の3人です（左からサメルさん、デウィさん、アジームさん）

その2 宮島ツアー

12月11日（土）、1年3か月ぶりの宮島ツアーを開催しました。参加者は10か国18名のJICA研修員。全員が広島大学に留学中です。

まずは、宮島訪問前にOKOSTAでお好み焼き作り体験をしました。この体験施設では、イスラム教徒やベジタリアンでも食べられるコースが用意されています。インストラクターのお手本に倣って楽しんで焼いていきます。具材を積み上げたお好み焼きをひっくり返す一番の難関も無事に突破し、美味しいお好み焼きを堪能しました。



「順調に焼けてます!」



青い空に朱色の神社が映えてとても綺麗でした

ホームステイ・ホームビジット ホストファミリー募集中です!

広島県内の大学や専門学校等に通う外国人留学生をご自宅に招いて、国際交流してみませんか？
資格・経験は問いません。日帰りや一泊二日でホストファミリーとして留学生の受入れに興味がある方は、ぜひご応募くださいませ。



- **申込条件**
ご家族全員の同意が得られている方
- **費用**
原則食事代などはお支払いいたします。
- **申込方法**
下記ウェブサイトより詳細をご確認の上、申込書をダウンロードしてメールかファックス、郵送にて申してください。

申込先

メール：office@int-students-hiroshima.jp
FAX：082-243-2001
郵送：〒730-0037 広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6階 ひろしま国際センター 宛

詳細・申込はこちら <http://bit.ly/3F40Lkd>



留学生ボランティア派遣受入れ団体を募集しています!

県内の外国人留学生や日本人学生が地域との交流や国際交流・国際協力事業等への参画を促進するため、また地域の国際交流や多文化共生を支援するため、県内の留学生を派遣します。

過去の事例

- ・ 県内の高校に留学生が訪問し文化交流
- ・ 地域のお祭り
- ・ 地域の語学講座等

派遣団体

市町・学校・自治会や学生団体、国際交流団体など
※個人からの依頼は対象としていません。

派遣の依頼方法

下記ウェブサイトより詳細をご確認の上、「派遣依頼書（様式第2号）」をダウンロードしてメールかファックス、郵送にて申してください。

申込先

メール：office@int-students-hiroshima.jp
FAX：082-243-2001
郵送：〒730-0037 広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6階 ひろしま国際センター 宛

詳細・申込はこちら <https://bit.ly/3LGAfRk>



県内文化施設等優待カード(HiCISメンバーズカード)申込受付中!

We are accepting applications for discounted HiCIS member cards!

ひろしま国際センターでは、日本や広島文化・芸術への理解を深めてもらうため県内の文化施設等の入場料・拝観料が無料、もしくは割引される優待カードを発行しています。

The Hiroshima International Center issues HiCIS members cards which give free or discounted entry to cultural facilities in Hiroshima. This card is to help deepen your understanding of Japanese and Hiroshima culture and art.



■カード特典 Membership benefits

- ・ 広島県内の文化施設（美術館・博物館・水族館・神社・資料館）の入場料が、無料もしくは割引料金で利用できます。
- ・ Enter cultural facilities in Hiroshima (art galleries, museums, aquariums or shrines) for free or at a discount.
- ・ 広島県留學生生活支援センターのイベント情報が、メールマガジンで配信されます。（配信を希望するかどうかは、申込するときに選べます。）
- ・ Receive an email newsletter with info on HiCIS events. (Optional subscription; opt in or out when you sign up)

■申込対象者 Eligible applicants

- ・ 広島県の大学や高等専門学校、日本語学校等に通う留学生（「留学」ビザの方）
- ・ International students from universities, technical colleges or Japanese language schools etc. in Hiroshima

申込はこちらの
二次元バーコードから
For the application form

詳しい情報はこちらから
For more info



Hello Hiroshima

Vol.116 April 2022



**Hello Hiroshima!
Aya here!**

Aya
(Hiroshima Prefectural Coordinator
for International Relations)

I did end up visiting the US this winter, but now I'm back. *ただいま!* Hope the Hiroshima winter has been treating you all kindly.

If you are curious about what I, a Japanese-American did in California during the holidays, it's your lucky day! However, I do want to emphasize America's diverse cultural traditions; my holidays probably looked very different from many other Americans!

I flew into San Francisco Airport the morning before Christmas Day! My mom picked me up at the airport, and it had been so long since we had seen each other, it took a moment for her to recognize me! While we laughed about it, that's how you know it's been too long.

She gave me a huge hug, and before we had even made it home, we found ourselves buying parking lot tamales and gorging ourselves on nachos and pozole at our favorite neighborhood Mexican restaurant. That's when it really hit me that I was back; I could feel my whole body give a big exhale.

That night we gathered family at our house, and had a really sweet and long overdue reunion. We all picked out a Christmas tree together, and decorated it with ornaments passed down through our families. My personal favorites are real seashell ornaments from my grandmother; they still faintly whisper of the ocean if you hold them against your ear.

Then we cooked a big dinner as a family, and played

Christmas carols while drinking spiked eggnog. In honor of my late grandfather, we made his favorite recipe of mulled wine, and left a small glass of it for him at the makeshift *butsudan* (small household shrine) in our house. On it sits a framed portrait of him. He's still a small child in the photograph, but you can immediately tell it's him; he already had the same smile that I knew and loved.

On Christmas morning we gathered on the big sofa in the living room, calling relatives scattered all over the US and Japan so that we could celebrate together, even across an ocean. Grandparents and technology; endearing chaos, commence!

For New Years, while many Americans (including myself) usually spend it with friends, I chose to spend it with family this year. I woke up bright and early with my mom, packed a thermos of hot chocolate, and hiked up a tall hill (or a short mountain if you're feeling generous) to see the first sunrise of 2022. There were a few other pairs of people, and when the sun finally peaked over the horizon, we all shouted "Happy New Year!" to one another. It left me feeling invigorated, refreshed and hopeful.

I hope that all of you had similarly lovely beginnings to your 2022! Wishing you and yours good health and happiness.



広島から世界へ! いつか世界を変える力になる!

広島から世界へ! 現在(2022年2月28日時点), 広島県出身の
JICA海外協力隊9名が世界で活躍しています!



■現在赴任中の広島県出身 JICA海外協力隊(名)

区分	男性	女性	合計
青年	5	4	9
シニア	0	0	0
日系青年	0	0	0
日系シニア	0	0	0

2022年2月28日時点

<JICA海外協力隊>

「自分の持っている技術・知識や経験を開発途上国の人々のために活かしたい!」という強い意欲を持つ20歳~69歳の日本国籍を持つ方が対象のボランティア事業です。派遣は原則2年間。衣食住を現地の人とともにしながら、互いに理解を深め、同じ目線で途上国の課題解決に取り組めます。また、帰国後も現地での経験を日本の地域や世界の発展に役立てることが期待されています。そんな草の根レベルのボランティアに、あなたも参加してみませんか?



帰国隊員レポート

~モロッコ篇~

職種: 助産師 山内 こづえさん



モロッコ

アフリカ北西部に位置する立憲君主制国家。
【概要】面 積: 446,000平方キロメートル (日本の約1.2倍, 西サハラ除く)
人 口: 3,603万人 (2018年: 世銀)
首 都: ラバト
言 語: アラビア語(公用語), ベルベル語(公用語), フランス語
宗 教: イスラム教(国教) スンニ派がほとんど

現地での活動内容

首都のラバトから南東に580km, バスで10時間半くらいのところにある保健センター3か所で助産師として活動していました。妊娠した女性を対象に行う母親学級を現地のスタッフの方が継続して行えるよう, 母親学級の普及と定着の活動を行っていました。また, 同じ活動をしている医療隊員(助産師, 看護師など)と協力して, 母親学級の時に使用する教材を作成したり, モロッコの保健省の方などと協力して現地のスタッフが使いやすい教材を作成し研修会を開催したりしながら, 普及活動を行っていました。



モロッコってこんなところ!



▲任地の様子

モロッコはとても魅力的な方が多い場所です。マルハバ(ようこそ!)とおもてなしの心で接して下さる方が多く, 私自身が何度も助けられ, 癒されてきました。いろいろなことはありますが, モロッコの方と仲良くなればなるほど, 居心地の良い場所となりうる所だと思っています。また, 地域によって風景が全く違うので観光するのも楽しく, 食事はおいしいし, 雑貨もかわいいでデモンションがあがります。満点の星空や静寂を求めてラクダに乗って砂漠などに行かしてみるのもお勧めします。個人的にですが, 人生で一度は訪れてほしい国の一つです。

モロッコの食事

モロッコ料理といえば, 何が思いつくでしょうか? クスクス, タジン鍋, ミントティー, 数えきれないほど美味しいものがたくさんあります。最初は, 砂糖を大量に入れたお茶にびっくりしていましたが, いつの間にかそれがおいしいと感じていました。モロッコの方は家で家族と食事をとることをとても大切にしています。私の活動をしていた地域では, タジン鍋をみんなで囲みパンとともに食べて, そのあとフルーツを食べるといった家庭が多かったです。お店で食べるのも美味しかったですが, モロッコでのお友達の家で食べる料理がとても美味しかったです。美味しいと感じるのは, みんなで料理を分けて食べているからなのか, 好きな味付けだからなのか, 今でも時々食べたくなる時があります。



▲モロッコの食事



▲モロッコの食事



▲モロッコのお菓子

山内 こづえさんプロフィール

・東広島市出身。看護師・保健師・助産師の資格を習得し, 助産師として勤務後, 大学院へ進学。その後, 2012年9月~2015年9月までの3年間でモロッコ王国に助産師として派遣される。帰国後は, 地域の母子保健活動を行い, 現在は看護系の大学で働いている。

参加のきっかけ

東広島市には酒祭りというお祭りがあるのですが, そこでJICAのブースに出会ったことがきっかけになりました。また, 海外旅行も好きだったこと, 小さいころから発展途上国に行ってボランティアで来たことなど漠然と思っていたことも重なり, 参加しようと思った時のタイミングもよかったため, 参加しました。

参加して思うこと

みんな同じ人であるということ再認識したこと, すごく人間らしく過ごせた3年間であったのではないかと感じています。最初のころは, 自分の感情がジェットコースターみたいに揺れ動いていた日もあり, モロッコでの生活や活動をしていくうえで大変な時もありました。そんな中でも, 日本から来た言葉もあまり通じていない私に対して, 周囲のモロッコの人たちは底抜けにあたたかく, 私のことを分かっていてくれていたように思います。少しずつ慣れ, 一緒に笑ったり泣いたり, 文化や宗教など違いはありますが, みんな同じ人であるという当たり前のようなことに気づかされました。

「グローバルリレーションズ・プログラム (GRP)」参加者の声

HIC article: Techngong TANG (Cambodia)

テノン タン

Greeting! My name is Tenon and I am from Cambodia. Currently, I am studying at Hiroshima University in the department of Integrated Global Studies (IGS). I have visited Japan a few times before coming to study at Hiroshima University. The reason that keeps bringing me to Japan is Anime. It may sound funny, but it is the reason that gives me the passion to keep coming to Japan, and eventually study abroad in Japan. What I found interesting about Japan when I first came to Japan was FOOD! There are various types of food in Japan; yet, the most interesting one for me was the mixture of Western-style and Asian style. For example, Omurice, Okonomiyaki, Hambagu but served with rice and cooked vegetables. Additionally, what surprised me was the aging population. In Cambodia, I have not seen many elderly in public areas. However, this was the opposite when I first arrived in Japan because I saw mostly the elderly in public facilities.

To begin with, I would like to introduce my life in HIC and as a GRP member.

Presently, I live in Hiroshima International Plaza, a non-profit organization; the building is located on a hill, surrounded by beautiful nature, and has a great view over the town. In addition, the Hiroshima International Plaza provides a variety of facilities for the residents such as: a study room, music room,

library, cooking room, gymnasium, and other necessary facilities. The people that work in the Plaza are active, friendly, and helpful. I feel warmth, convenience, and safety. When you live in the International Plaza, you can meet international students from numerous nations; also, HIC offers opportunities to participate in the events with Japanese people. These allow me to interact with other international students and Japanese people by sharing the culture, tradition, belief, knowledge, and way of life.

Next, I would like to introduce my life in Japan as a third-year student.

I study at Hiroshima University and my major is Environment and Society. I think studying in this field is quite challenging because I need technical knowledge to collect data at the fieldwork and conduct research successfully in the laboratory. Nevertheless, it is intriguing for me at the same time because I am interested in the field of science and technology. Besides university life, I like to spend my spare time improving myself by reading philosophy, listening to audiobooks, and partaking in public speaking, particularly, Toastmaster!

I think I am really lucky to come to Japan, study at Hiroshima University, and live in Hiroshima International Plaza.



グローバルリレーションズ・プログラム (GRP) とは?

ひろしま国際プラザに入居して大学に通いながら、国際社会で活躍できる「実践力」を身につけることを目的にした、外国人留学生のためのプログラムです。現在、9ヶ国19人の留学生が参加しています。

そのほか、レジデントアシスタントの日本人学生2名が入居し、彼らを支援しています。

★入居使用料
1泊800円 管理費2,550円/月
月額24,950円～27,350円(水道光熱費込み)

★毎年、春と秋に入居者を募集しています。募集の際には「ひろしま国際プラザ」のHPに掲載します。

外国人留学生奨学金への寄付を募集しています



令和3年度奨学金決定通知書授与式

当センターでは、企業や県民の皆様からのご寄附を受けて、県内の私費外国人留学生に奨学金を支給しています。(今年度の実績：42名、渡日等留学生支援に係る奨学金も含めて全体で62名)

外国人留学生の多くは、アルバイトをしながら勉学に励んでいます。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、アルバイトができず、母国の家族からの支援も望めない留学生が数多くあります。このような経済的に苦しい状況下にある外国人留学生への温かいご支援をお待ちしております。

企業・団体の協力による奨学金 1口 370,000円 県民の協力による奨学金 1口 5,000円

※口数の制限はありません。留学生には月額30,000円を1年間支給致します。

交流部&留学生生活躍支援センター

〒730-0037
広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6F
TEL.(082)541-3777 FAX.(082)243-2001
E-mail/hic@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間

月～金 10:00～19:00 土 9:30～18:00
日・祝日および年末年始(12/28～1/4)はお休みです。



研修部 (ひろしま国際プラザ)

〒739-0046
東広島市鏡山三丁目3-1 ひろしま国際プラザ内
TEL.(082)421-5900 FAX.(082)421-5751
E-mail/hicc@hiroshima-ic.or.jp

■開館時間

【情報センター・図書室】
月～金 10:30～12:30, 13:30～19:00
(12:30～13:30閉室)
土・祝日 10:30～19:00

※日曜および年末年始(12/29～1/3)はお休みです。
※その他、臨時休業の場合は、HPで随時お知らせします。
※NGO交流室は休室中です。

